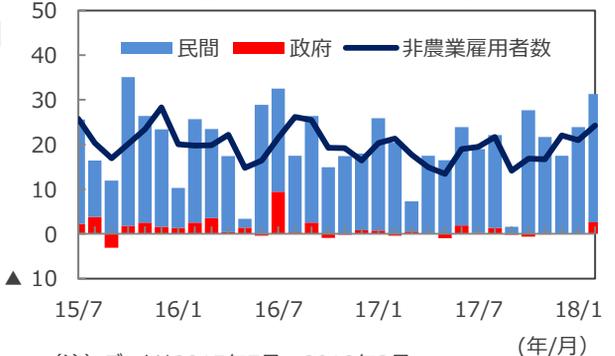


今日のトピック 「適温」状態が続く米国の雇用統計（2018年2月） 雇用の増勢は加速したが、賃金上昇は緩やか

ポイント1 雇用者数は31万人増 幅広い業種にわたって雇用が増加

- 2018年2月の非農業部門雇用者数は前月比31.3万人の増加となり、市場予想（ブルームバーグ集計）の同20.5万人増を上回りました。3カ月移動平均で測った雇用の増加速度は24.2万人と、ここへきて再び勢いが増えています。
- 例年に比べ温暖な天候による建設業の雇用の押し上げ等、一時的な要因はありましたが、それらを考慮に入れても、雇用の基調はしっかりしていると評価できます。

▲ (万人) 【非農業雇用者数の推移（前月比増減）】

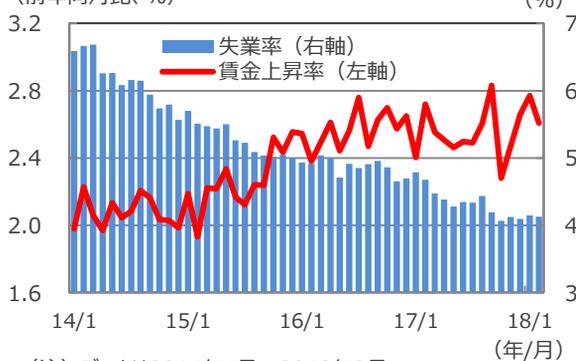


(注) データは2015年7月～2018年2月。
非農業雇用者数は3カ月移動平均ベース。
(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 失業率は前月と同じ4.1% 賃金の伸びは緩やか

- 他方、失業率は前月比横這いの4.1%でした。景気拡大の長期化に伴い労働供給（労働力人口）は増えていますが、それを吸収できるだけの労働需要（求人）が創出されています。
- 賃金上昇率は、市場予想の前月比0.2%を下回る同0.1%にとどまりました。前年同月比では2.6%となり、1月のそれぞれ0.3%増、2.8%増から鈍化しました。1月の賃金上昇率の加速は、やはり天候要因による一時的なものと考えられます。

▲ (前年同月比、%) 【賃金上昇率と失業率】



(注) データは2014年1月～2018年2月。
(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 賃金・物価が安定しているため、利上げの速度は緩慢と見られる

- 3月20日～21日に開催が予定されている次回の米連邦公開市場委員会（FOMC）では、利上げが決定される見込みです。景気の拡大が続いていることから、その後も利上げは継続される見通しですが、賃金・物価が緩やかな上昇にとどまっているため、利上げ速度は緩慢と予想されます。
- 3月8日の米国市場では、株価が上昇、国債価格は下落（利回りは上昇）しました。雇用が大幅に増加したにもかかわらず、賃金上昇率が前月に比べ鈍化したことから、「景気拡大と低金利が両立する良い投資環境が続く」との見方が強まったと考えられます。

ここもチェック! 2018年3月2日 パウエルFRB新議長の『議会証言』
2018年2月5日 引き続き良好な内容だった米雇用統計（2018年1月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。